



## 著者プロフィール

藤本夕衣(ふじもと・ゆい)

昭和54年生まれ。愛知県出身。

平成16年 「ゆう」に入会し、田中裕明に師事。

平成17年 「ゆう」終刊後、「晨」、「泉」に入会し、大峯あきら、綾部仁喜に師事。

平成18年 「静かな場所」同人。第一句集『風水』(私家版)上梓。

平成19年 「晨」同人。

平成20年 泉新人賞受賞、「泉」同人。

平成26年 泉賞受賞。

現在、「晨」同人、俳人協会会員。

〈句集『遠くの声』より転載〉〈2019年3月3日時点〉

## 『遠くの声』(自選15句)

藤本 夕衣

けふ眠るところ氷柱のあるところ  
寒林や息するやうに雨の降る  
廃れたる城に鳥とぶ日永かな  
木の影のまじはらずあり更衣  
掌にみづうみの水なつやすみ  
月涼し家に寝息のあるごとし  
ほんたうのかなしみ知らず水草生ふ  
片耳のとばされてゐる雪兎  
初花やけふにあしたのあることよ  
雪片を赤子とひとつふたつと見  
子のひたひ広げて玉の汗ぬぐふ  
囀や「泣いたつてママこないのよ」  
草笛の鳴らずに雨のほひする  
溶岩の海へ海へと春の星  
炎天をはらりととる黒揚羽